

富津市健康づくり推進協議会会議録

1 会議の名称	富津市健康づくり推進協議会	
2 開催日時	平成23年7月20日(水) 14時30分～15時42分	
3 開催場所	富津市役所5階 504会議室	
4 審議等事項	(1) 平成22年度事業実績報告について (2) 平成23年度事業について	
5 出席者名	会長(平野和夫副市長)、副会長(田中治実委員)、 渡辺隆二委員(教育長)、君津保健所長(代理/長谷川副センター長)、椎津裕貴委員、平野弁一委員、磯部健一委員、小柴貞雄委員、田中明夫委員、高梨健二委員、 有馬佐知子委員、以上委員11名 (欠席委員3名、廣田賀寿恵委員、藤野一夫委員、 平野武男委員) 吉原健康福祉部長・藤平次長(健康づくり課長)・島田国民健康保険課長・鈴木課長補佐(健康づくり係長)・ 堀岡副主幹(特定健診推進係長)・平野順子主査・平野幸子主査・栗本主査・圓川主任保健師	
6 公開又は非公開の別	公開	
7 非公開の理由		
8 傍聴人数	0人 (定員10名)	
9 所管課	健康福祉部健康づくり課健康づくり係	
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり	

上記会議の顛末を録し相違ないことを証するためにここに署名する。

平成23年7月20日

富津市健康づくり推進協議会 会長 平野和夫

署名委員 磯部健一

署名委員 小柴貞雄

富津市健康づくり推進協議会会議録

発言者	発 言 内 容
事務局 鈴木課長補佐 (健康づくり 係長)	<p>定刻になりましたので、只今から富津市健康づくり推進協議会を開催させていただきます。</p> <p>役職の交代等に伴い、新たに3名の方に委員をお願いいたしております。なお、委員の紹介ですが、別紙名簿、席次表により紹介に代えさせていただきます。</p> <p>この会議は富津市情報公開条例第23条により会議の公開と会議録を閲覧に供さなければならないこととなっております。従いまして傍聴人の受け入れと会議の公表による会議録署名委員の指名についてご理解いただきたいと思います。</p> <p>本日の傍聴人はおりません。</p> <p>本日の出席委員は、14名中10名で過半数に達しておりますので、協議会設置要綱第6条第2項の規定によりまして会議は成立いたしております。大佐和分院長の田中委員さんから遅れてくるという連絡がございました。</p> <p>それでは、初めに会長の平野副市長よりご挨拶を申し上げます。お願いいいたします。</p>
平野副市長	<p>それでは、開会にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。</p> <p>本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、日ごろ、皆様には、健康づくりの推進に御尽力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。</p> <p>新しく委員になられた方もいらっしゃいますが、任期が平成24年3月までということで、よろしくお願いいいたします。</p> <p>今年の3月11日に東日本大震災が発生いたしまして、被災者の方で富津市に避難している方もいらっしゃいますが、健康を害することができないように健康診査やがん検診、予防接種等が無料で受けられるようにしてございます。</p> <p>また、今年度から法定予防接種ではない、任意予防接種の子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンを無料で接種することができるようになりました。</p> <p>65歳以上の方の肺炎球菌ワクチン接種につきましても、当市では、実施しております。</p> <p>若年健康診査につきましては、対象年齢が昨年度までは35歳から39歳まででしたが、年齢を引き下げまして18歳から受診することができるようになりました。</p> <p>詳細につきましては、後ほど議題の中でご説明いたします。</p> <p>さて、本日の議題といたしまして、</p>

	<p>(1) 平成22年度事業実績報告について、 (2) 平成23年度事業について、でございます。</p> <p>これから、事務局から説明がありますが、ご審議いただきまして、御意見また、御指導を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。</p>
鈴木課長補佐	<p>議事の進行につきましては、健康づくり推進協議会設置要綱第6条第1項により会長が議長となります。会長よろしくお願ひいたします。</p>
議長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。 最初に会議録署名委員の指名ですが、会長のほか2名でございます。選出方法は、いかがいたしましょうか。</p>
	(会長一任の声あり)
議長	<p>会長一任という声がありましたら、私の方で一任ということでおろしいでしょうか。</p>
	(異議なしの声あり)
議長	<p>それでは、こちらで指名させていただきます。会議録署名委員につきましては磯部健一委員、小柴貞雄委員に指名をさせていただきます。</p> <p>よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、早速ですが只今から会議次第により議事に入らせていただきます。</p> <p>ご審議の程よろしくお願ひいたします。</p> <p>議題（1）平成22年度事業実績報告について、を議題といたします。担当課から説明をお願いします。</p>
藤平次長（健康づくり課長）	<p>それでは、健康づくり課の平成22年度事業実績についてご報告いたします。</p> <p>（会議資料2ページから8ページに基づき報告を行った。）</p>
島田国民健康保険課長	<p>それでは、国民健康保険課の平成22年度特定健康診査等事業についてご報告いたします。</p> <p>（会議資料9ページに基づき報告を行った。）</p>
議長	<p>以上で（1）の平成22年度事業実績報告について説明がありましたが、これについてご意見、ご質疑等ありましたらお願ひいたします。何かございませんでしょうか。</p>
平野弁一委員	<p>色々検診をやられて、パーセンテージが低いのですが、その中で8頁の1歳6ヶ月児健診、3歳児健診この所が91%・86%ということで残った方々の調査とか、内容等がわかりましたらお願ひいたします。</p>
議長	はい、事務局

圓川主任保健師	受診をしていない方につきましては、電話などで勧奨をしていまして、健診に結び付く方もいらっしゃいますが、実際に来られない方の理由といたしましては、保育園や幼稚園に所属していまして、園で検診があるために、そこで受けいらっしゃるとか、保護者の方が健診に仕事の都合がつかなくて来られないとか、あと他機関で病気を持ち合わせていて通院中というお子さんがおりました。なるべく受診していただくように主旨を説明して、必要があれば訪問等も実施しております。
高梨委員	若年健診の積極的支援、動機づけ支援について、特定保健事業でも出てきましたが、対象者はどういう比較をするのかと、予防接種の日本脳炎が21年度と比較して実施率が上がっていますが、何か手立てを講じたのか、この2点です。
栗本主査	若年健診について説明させていただきます。特定健診は積極的支援と動機づけ支援について実施する義務がありますが、若年健診は市の独自の事業で義務化はないのですが実施しています。積極的支援は解りやすく言えばメタボリックの方、動機づけ支援は、その予備軍の方です。振り分けについては国の指定された工程があってメタボリックはお腹周りと、あと高血圧、高血糖、高中性脂肪の内から二つ以上が該当している方で、動機づけ支援は、腹囲があって、高血圧、高血糖、高中性脂肪の内の一つが該当する方です。そういう方々には検診データを理解していただくように結果説明会ですとか個別の面接とか家庭訪問により健診結果をご理解いただくことを大事にしています。
平野幸子主査	予防接種の日本脳炎についてですが、21年度まで積極的勧奨を差し控える期間でしたので希望者だけが接種をしていました。昨年の4月から3歳に達する方に積極的勧奨をしてよいことになりました8月からは、9歳から13歳未満の未接種の方の接種ができるというようになりましたことによりまして接種率が上がりました。
君津健康福祉センター副センター長	がんの検診関係ですが、要精検になった人で精検を受けられてない人は結果がまだ出でていないのか、これから受けるのか、受けていないのか、どのようにになっているのか伺います。
平野幸子主査	自分で受けない方もいらっしゃいますし、この後で受ける方もいらっしゃいました。
議長	受けない人にどのような指導をしているのか。受けないで終わってしまっているのか、その辺を教えてください。
平野幸子主査	前にも引っかかったから受けないという方には、それ以上は言えませんので受診する可能性のある方には、是非受けるようにお話はしています。
君津健康福祉センター副センター長	精検を受けない中に精検を受ける内容が不安だとか、そのようなものは、ないですか。要精検の人はガンの可能性があるので、受けないといった人にどのような対応が良いかと思いましたので。

平野幸子主査	精検を受けない方には、話をしまして受けるように導いていきたいと思います。
議長	他市ではどういう対応をしているのか、その辺を研究してみて、良ければ真似をするとか、やってみてもらえますか。
平野幸子主査	他市の良いところは真似をしていきます。
渡辺委員	たとえば胃がん検診ですが、受診率が2.6%で残りの97.4%の内訳は、どこかで受けているとか、人間ドックに行っているとか、その辺のデータとかはありますか。
平野幸子主査	はっきり申し上げて、ないのですが、市はバリウム検査でやっていまして人間ドックで受けている方とか、バリウムが飲みにくいということがありまして内視鏡で受けている方とかもいらっしゃいます。
議長	国民健康保険の人間ドックに助成を出していますね。そうすると国保の方で受けた方が何人いるのかわかりますので調べておいたらどうですか。 その辺の数値がどのくらいあるのかというのもありますし。
鈴木課長補佐	国民健康保険の40歳以上の方で人間ドックを受けた方が350名程いらっしゃいましたので、その方々は胃がん検診を受けていらっしゃると推定されます。
君津健康福祉センター副センター長	それは対象者数に含まれているので、元が多いのではないですか。40歳以上は一律に入れる形で対象者数を取っていますか。
議長	対象者数はどこからどのようにして出したのか、その辺で流れが見えてくると思われます。
平野幸子主査	以前は全国的に市町村でばらばらの出し方でしたが、国で出し方を示したものがありまして、国勢調査に基づいての人口から就業者数だとか農林水産業の従事者数から出したもので全国的に統一がされています。
議長	全国の国勢調査の数値で割り出したものが、国から上がってきますか、こちらで計算しますか。
平野幸子主査	通知が初めに来た時は自分のところで計算するようにということでしたが、1年くらい前から国で計算したものが出ています。 国勢調査が元になりますので、5年間は対象者数が変わりません。 昨年国勢調査がありましたので、次回から変わるところです。
議長	そうすると自分で健康管理したいという方がいて、人間ドックで受けると、この率は低いままになってしまうということですか。 ここにある率は、集団検診しか載っていないということですか。
平野幸子主査	市の集団検診を受けた人数だけです。

田中委員	<p>大佐和分院で年間の胃カメラがだいたい500人から700人です。</p> <p>ドックの方も入っていると思いますが、二次検診でご利用になっている方もいると思いますが、うちの規模で、だいたいそういう内視鏡の数をやっていますのでご参考までに。</p>
議長	国保の人間ドックで350人というのは、1年間でということですか。
藤平次長	1年間で350人です。
議長	これは、他市町村の率の高いようなところで聞いてみるのも方法なのかもしれませんですね。また、こちら辺についてもこの会で意見があったということで検診率を高めれば個人のためになる話ですから、高めていただきたいと思います。他にございませんか。
君津健康福祉センター副センター長	若年健診の数字の確認をさせてもらいたいのですが、積極的支援になった方というのは対象者912人の内、積極的支援になった人が28人ですが何人フォローができていたりとかいう、これは対象者に上がった数ということですよね。指導した数がイコールになるのですか。対象者と考えていいですか、それとも実施者ですか。
栗本主査	対象者です。
君津健康福祉センター副センター長	そうすると、実施者はどのくらいいたのですか。
栗本主査	若年健診だけでは出していないのですが、全体の健康相談などでも特定健診の対象者を含めた人数で出しています。
君津健康福祉センター副センター長	若い時からの健診ですので、別にして追っていくというか、若いのにメタボに入っている人が多いので、データが出たらいいのかなと思います。
栗本主査	今年度から対象者が18歳からになりましたのでデータが違ってくると思いますので、若年としてまとめて見てみたいと思います。今回は一緒になっていますので、来年は違う出し方でやってみたいと思います。
議長	<p>他にございませんか。</p> <p>ご意見もないようでございますので「平成22年度事業実績報告について」は、終了させていただきますが、只今出た意見については、こういう意見があったということで事業に生かしていきたいと思います。</p> <p>続きまして、議題（2）の平成23年度事業について、担当課から説明をお願いいたします。</p>

藤平次長（健康づくり課長）	つづきまして、平成23年度事業について、ご説明いたします。 (会議資料11ページから13ページに基づき報告を行った。)
島田国民健康保険課長	平成23年度特定健康診査等事業についてご説明させていただきます。 (会議資料14ページに基づき報告を行った。)
議長	説明が終わりました。 只今の説明に、ご意見等ございましたらお願いいいたします。 何かございますか。
君津健康福祉センター副センター長	特定健診特定保健指導の受診率で、先程22年度の実績の時に保健指導は45%行くでしょうという話だったのですが、特定健康診査についても途中だと、多分今年の11月に確定するのだとすると、この59%を今年度の目標にということなのですが、それは未受診者のアンケートとかをやって色々と工夫されてポスターを貼ったりとか59%行くだろうということの裏付けでやったのでしょうか。色々と工夫をされているのだろうと思いますが、59%の裏付けというのは、今40%弱で59%にするのは、大変な事業というのを重々承知なのですが、こういう風に考えているということがありましたら教えていただきたいのですが。
堀岡副主幹 (特定健診推進係長)	59%の根拠でございますが、特定健康診査等実施計画の中に各年度目標で24年度までに65%を達成しなさいという最終目標が、指示がありまして市町村では65%が最大の重要課題、これによって後期高齢者の支援金の問題も出て、今中間の見直しも入っていまして、達成している所がほとんどない、小規模のところで数か所という状況でございます。59%は平成23年度の計画値でして、少しでも努力してそれに近づく対策はあらゆることをしていますが、この目標値は旗を下ろす訳にはいかないので59%をあくまでも目指して来年度65%を達成するという意気込みは持続しております。
議長	他にございませんか。
平野弁一委員	特定健診の受診率で、これもさっきの質問の中にありましたが、対象者数の分母の考え方ですが、富津市の40歳以上の方々の分母の取り方で変わってくるのかなと思いますが、どういう風に分母を取っているのかということを聞かせてください。
堀岡副主幹 (特定健診推進係長)	分母は、はっきりしておりまして、本年度4月1日現在で40歳以上の富津市国民健康保険の加入者で、国保連合会からのデータで出てくる方になります。
平野弁一委員	それはメタボリックになってもならなくとも、特定健診の受診対象者が22年度は集団検診で6,849人、個別で6,279人ということですか。

堀岡副主幹 (特定健診推進係長)	そうです。
議 長	<p>他に、ございませんか。</p> <p>特ないようでございますので、「平成23年度事業について」を終了させていただきます。</p> <p>続きまして、その他に入ります。</p> <p>その他で何かございますか。せっかくの機会でございますのでどんなことでも結構でございます。</p> <p>事務局の方何かありますか。</p>
藤平次長（健康づくり課長）	特にございません
議 長	<p>それでは、ないようでございますので、以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。</p> <p>また、皆様から頂いたご意見・ご提言は、今後の健康づくり推進のために生かしていきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>